

2012 JCF J シリーズ#3 ニセコ花園 MTB CUP レースレポート

MIYATA-MERIDA BIKIG TEAM 齊藤 亮

大会名：2012 JCF J シリーズ#3 ニセコ花園 MTB CUP

期日：2012年7月1日（日）

会場：ニセコ HANOZONO リゾート

天気・気温：曇/晴・22℃

競技種目：男子エリート スタートループ+4.5km×6Laps

出場者数：44名

レース結果：2位

.....

J シリーズ 3 戦目の舞台は北の大地、北海道ニセコ。昨シーズンから北海道での J1 大会が始まり今年で 2 回目の開催。選考会、全日本選手権を終え、心身共にリラックスした日々を過ごすことが出来、残りのシーズンに向けての充電期間と方向性を見つめ直すことが出来た。レースを重ね、経験値が上がる度に色々な発見と可能性を見出せる。勝って気付くこともあれば、負けて気付くこともまた多い。そんな中で今回の J シリーズ戦は勝つことだけに拘ったレースをしたいと思っていた。北海道へはチームと一緒にフェリー移動。最小限の荷物を持って飛行機で行くか、最大限の準備と機材を持ってフェリーで行くか。僕は迷わず後者を選んだ。朝 4 時過ぎに小樽港に到着。海風が心地良い。決戦を前に穏やかな気持ちと、やっつやるぜー！という高ぶる感情でレース会場へと向かう。昨年のコースから大きな変更はなく、コースコンディションもドライで走りやすい。入念にコースチェックと機材のテストを繰り返しこの日の試走を終えた。涼しい北海道を想像していたが、金曜と土曜の気温は 30 度近くあった。しかし湿度がない分、カラッとしていて本州とは段違い。ホテルに戻り、つかの間の北海道を満喫しつつレースに向けてのコンディションを整えていった。レース当日は朝から曇り空。雨の心配はないが、風がかなり強く少し肌寒いくらい。いつもなら男子エリートのスタートは午後 14 時前後だが、今回は 11 時スタート。いつも通りに準備を進めアップを開始。どんな展開になるのか想像しながらイメージを膨らます。30 分程のアップを終えレースジャージに着替える。今回は WAVE ONE に作成して頂いたレース用 New ワンピースに初めて袖を通す。着心地はタイトで気合いが入る。10 分前にスタートコールされ最前列に。号砲と共に良い反応でスタートを切った。スタートループを 4 番手で通過し本コースへ。ハイスピードな展開ではなく、落ち着いたペースでレースが進む。1 周目は 5 名程のバックで展開。思いの外ペースが上がっていかないので、先頭に出て自分のペースで走る。時間が経つにつれ 5 名のバックが少しずつ離れ始め、自分を含む 3 名に。最大のライバルになる選手の動きを見つつ、消極的なレースにならないように心掛けた。2 周目終盤で 1 名が脱落し、山本選手（キャンonder）の 2 名になる。想像していた展開。2 人で淡々とラップを刻み、後続を引き離していく。北海道出身の山本選手の声援はやはり凄い。観客も MC も、関門員まで・・・笑。知ってはいたが、山本兄弟は北海道のヒーローだと再認識。数少

ない自分への応援が嬉しかったあ。後方で山本選手の走りを観察しつつ、勝負所を探る。ペース的には速く感じない。心拍もいつもより低い。何度も仕掛け場所を考えアタックしようと思ったが、冷静に分析しファイナルラップでの勝負に賭けた。スプリント勝負になるならば絶対負ける気はしない。フィードを過ぎてからの最後の登りでどれだけ粘れるかが勝敗を分ける。自分から仕掛けるよりもスプリントに持ち込みたいのでテーブルトップに入る下りで前に出た。どのタイミングで仕掛けられても対応出来る準備をして脚を溜める。案の定、フィードを過ぎた登りでペースアップ。これに食い下がる自分。登り切りを先行され下りへ。ちょっとした隙間でまた先行。そしてカズが強引に沢渡りに入ってきて来て 2 人共脚を着く・・・これぞガチンコバトル。数メートルの差は離れたがすぐに追い付く。前に出たいが簡単には出してもらえない。カズの強烈なペースアップに 10 メートル程差が開いたが、絶対に追い付く自信があるため一気に差を詰めずに少しずつ詰めて行きスプリント体制に備えた。直線が短いため後方からスプリントは不利なのはわかっているが、可能性は十分あると思った。観客と MC が盛り上がる中、最後のタイトコーナーを抜けてスプリント勝負。自分の方が完全に伸びているのが分かったが、最後にラインを完全に塞がれ負けてしまった。悔いはないと言えば嘘になるが、カズとの勝負は走っていていつも楽しい。そして得るものが多い。「たら、れば」は勝負の世界ではただの言い訳。負けをたくさん経験することで勝った喜びがより大きいのを知っている。気持ちを切り替えて次戦に向けて頑張っていきます。たくさんの応援、サポート本当にありがとうございました。次戦も熱い走りができるように頑張りますのでご支援、ご指導よろしくお願ひします。

【レース結果】

1. 山本和弘 東京都/ キャノンデールレーシングチーム
2. 齊藤 亮 長野県/MIYATA-MERIDA BIKIG TEAM
3. 小野寺健 京都府/TEAM SPECIALIZED
4. 門田基志 愛媛県/TEAM GIANT
5. 松本 駿 長野県/TREK
6. 佐藤誠示 埼玉県/

【使用機材】

バイク : MERIDA / BIG.NINE CARBON TEAM-D
フロントフォーク : DT-SWISS / XMM100-29 TS REMOTE TAPER
クランクセット : FSA/K-FORCE LIGHT HOLLOW CARBON-MTB
サドル : SELLE ITALIA SLR XC
ホイール : XCR 29er SUPER COMP PRO
タイヤ : IRC / MYTHOS XC29er
シューズ : NORTHWAVE / エクストリームテック MTB S.B.S

ヘルメット：KABUTO / REDIMOS

サングラス：adidas eye wear / evil eye halfrim pro /LST アクティブ S ライト

ケミカル：**HOLMENKOL**

メーター：POLAR / RS800CX BIKE

エネルギージェル：shotz ENERGY GEL

ドリンク：Electrolyte shotz

レースウェア：WAVE ONE

レースソックス：deuter

レースグローブ：KABUTO / PRG-1

アンダーウェア：CRAFT

インソール：SUPER feet / Black

ネックレス：erg

アパレルウェア：Columbia

テーピング：New-HALE

